

視覚障害を持っている人も、誰かの役に立ちたい、働きたい、その為には学びたい、そう聞きました。

リモートで学べる時代だけど、大学のキャンパスで学びたい、キャンパスに通いたいと…。

私の千葉大学・西千葉キャンパスはどうだろうか、視覚障害を持つ学生さんがアクセスし難くないかな？

➡ この調査は最寄り駅 JR 東日本 さんには断らないと！

*でも、どうやって連絡？、さらに、千葉市にも？…*

# 千葉大学・西千葉キャンパスの 視覚障害学生アクセシビリティ調査開始

千葉大学 眼科 菅原岳史（元 PMDA）



ご縁があって連絡が  
つきました。  
別の業界と繋がると  
少し道が拓けます！



# 西千葉キャンパスを、最寄り駅・西千葉駅を含めて、4つのエリアに分けたとして



ダイバーシティの世界を  
キャンパスから開始して  
学生が多様性を体感する！

図書館  
カフェ  
誘導エリア

エリア 4

視覚障害者エスコート  
学部 学科 巡回エリア

エリア 3

マッチング  
待機エリア

エリア 2

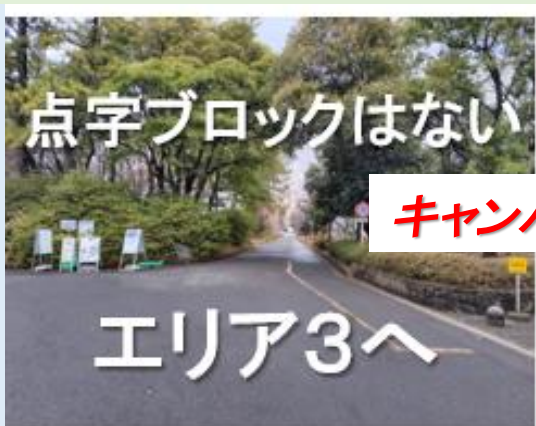
JR 東日本と千葉市のエリア

エリア 1

視覚障害者移動支援アプリの活用のほかにも、  
視覚障害者エスコート・ボランティアの育成や、  
導線の整備、音声ガイドの設営等、チャレンジ！



# 現状のチェックと突破口（糸口）の調査開始



まだまだこれから、でも、  
初めの、第一歩がないと、  
ゴールは生まれません。  
大事なのは覚悟です。  
覚悟の背中を押すのは  
共感と連携と協働です。

エリア1

次世代の学生たちの為に多様性の世界を！

